

「土木広報大賞 2018」 審査員賞を受賞しました！ “パンフレット「信州の土木 魅力のマップ」の発刊と活用の取り組み” (土木・環境しなの技術支援センターが受賞)

土木学会は、日本全国の各地域で展開されている様々な広報のうち、暮らしを支えている土木の役割・意義・魅力について広報を行っている活動または作品などで他団体の模範となるもの、他団体への展開が期待されるものなどを取り上げ、顕彰する 土木広報大賞を創設しました。第1回目となる「土木広報大賞 2018」には、日本全国から 99 件の応募が寄せられ、選考委員会（委員長：田中里沙 事業構想大学院大学 学長）による厳正な選考を経て、最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、準優秀賞 5 件、審査員賞 8 件の合計 16 件を選出しました。

土木・環境しなの技術支援センターは、パンフレット「信州の土木 魅力のマップ」の発行とその活用をめざす遺産ツアーの案内活動などの取り組みで応募し、「審査員賞」を受賞しました。

11月12日東京の土木学会で行われた受賞式には、各受賞団体（16団体）とともに、当センターからは小西純一理事長（信州大学名誉教授）が参加し、表彰状を頂きました。

この取り組みにご協力を頂きました関係の皆様、関心をお寄せいただいています皆様に改めて御礼申し上げます。引き続き、取り組みの継続にご支援をよろしく申し上げます。



土木広報大賞各受賞者の詳しい情報は、土木学会ホームページをご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/cprcenter/node/121>

Ctrl を押しながらクリックして下さい。